



# Network-MIDI Driver インストールガイド

## ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、〈ソフトウェア使用許諾契約〉を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアのダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をされた場合には下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みください。ご同意いただけない場合は、ダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をおやめください。すでにダウンロードやインストールをしたが、下記条項にご同意いただけないという場合には、速やかに本ソフトウェアを削除してください。

### ソフトウェア使用許諾契約

#### 1. 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- お客様のコンピューターにおいて使用することができます。
- バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

#### 2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
- 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用MIDIデータ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

#### 3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

#### 4. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

## 5. 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様がソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

## 6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- 弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- 弊社は、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- 弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

## 7. 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

## ご注意

- このソフトウェアおよびインストールガイドの著作権はすべてヤマハ(株)が所有します。
- このソフトウェアおよびインストールガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびインストールガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このインストールガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- Editorなどのアプリケーションソフトウェアは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。最新のアプリケーションソフトウェアは、下記URLからダウンロードできます。  
<http://proaudio.yamaha.co.jp>
- アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別途ご案内させていただきます。
- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- MacまたはMacintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

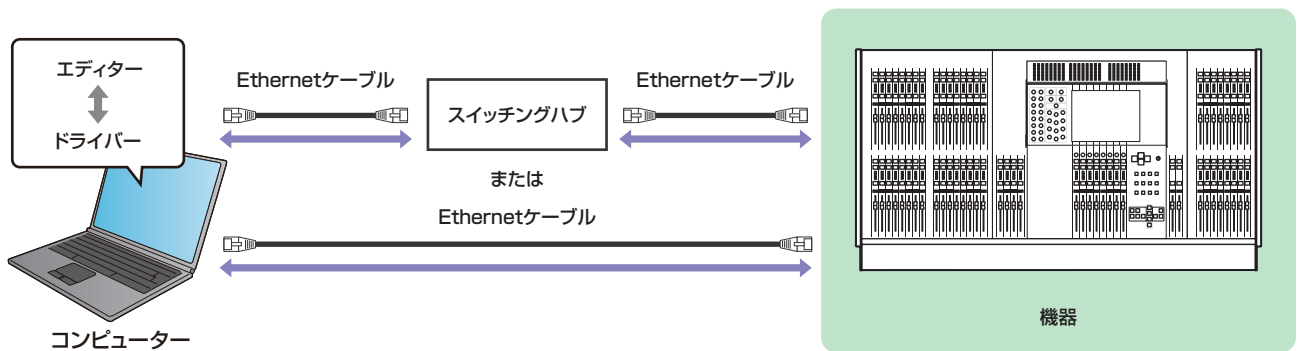
## Network-MIDI Driverとは

Network-MIDI Driverは、コンピューターからEthernetケーブルを通じて、機器にMIDI信号を送信したり、機器からMIDI信号を受信したりするためのMac用ソフトウェアです。

機器とコンピューターをEthernet経由で接続するためには、コンピューターにNetwork-MIDI Driverを正しくインストールする必要があります。

## コンピューターと機器の接続

Ethernetケーブルを使用し、スイッチングハブなどを経由してコンピューターと機器を接続します。コンピューターと機器をEthernetケーブルで直接接続することもできます。



**NOTE** コンピューターとM7CLを直接接続する場合は、クロスケーブルで接続してください。

## 動作環境

エディターの動作環境に準じます。詳しくは、各エディターのインストールガイドをご参照ください。

## インストール方法

- 1 コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログインします。**  
アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。
- 2 ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「Yamaha Network-MIDI Driver V\*\*\*.pkg」をダブルクリックします。**  
\*\*\*にはバージョン番号が入ります。  
「ようこそYamaha Network-MIDI Driverインストーラへ」画面が表示されます。  
**NOTE** インストールできないことを通知するメッセージが表示された場合、コンピューターが動作環境を満たしているかどうか確認してください。
- 3 [続ける]をクリックします。**  
「インストールの種類」画面が表示されます。
- 4 [インストール]をクリックします。**  
「認証」画面が表示されます。
- 5 管理者権限のあるアカウントの名前とパスワードを入力して、[ソフトウェアをインストール]または[OK]をクリックします。**  
「インストール」画面が表示され、インストールの進行状況が確認できます。  
インストールが終了すると「概要」画面が表示されます。
- 6 [閉じる]をクリックします。**

これでNetwork-MIDI Driverのインストールが完了しました。

## アンインストール方法

次の方法でYamaha Network-MIDI Driverを削除できます。

- 1 コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログインします。**  
アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。
- 2 ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「Uninstall Yamaha Network-MIDI Driver」をダブルクリックします。**
- 3 [Welcome to the Yamaha Network-MIDI Driver uninstaller.] と表示されますので、[Run]をクリックします。**  
以降は、画面の指示に従って削除を進めてください。
- 4 削除が終わると、「Uninstallation completed.」と表示されます。[Close]をクリックします。**

# セットアップ方法

## 1 管理者権限のあるアカウントでMacにログインします。

**NOTE** Network-MIDI Driverを使用する場合、コンピューターと機器が正しく接続/設定されている必要があります。接続に関しては「[コンピューターと機器の接続](#)」をご参照ください。設定に関しては「[TCP/IPの設定](#)」や「[故障かな?と思ったら\(Q&A\)](#)」をご参照ください。

## 2 Dockの[システム環境設定]アイコンをクリックします。

「システム環境設定」画面が表示されます。

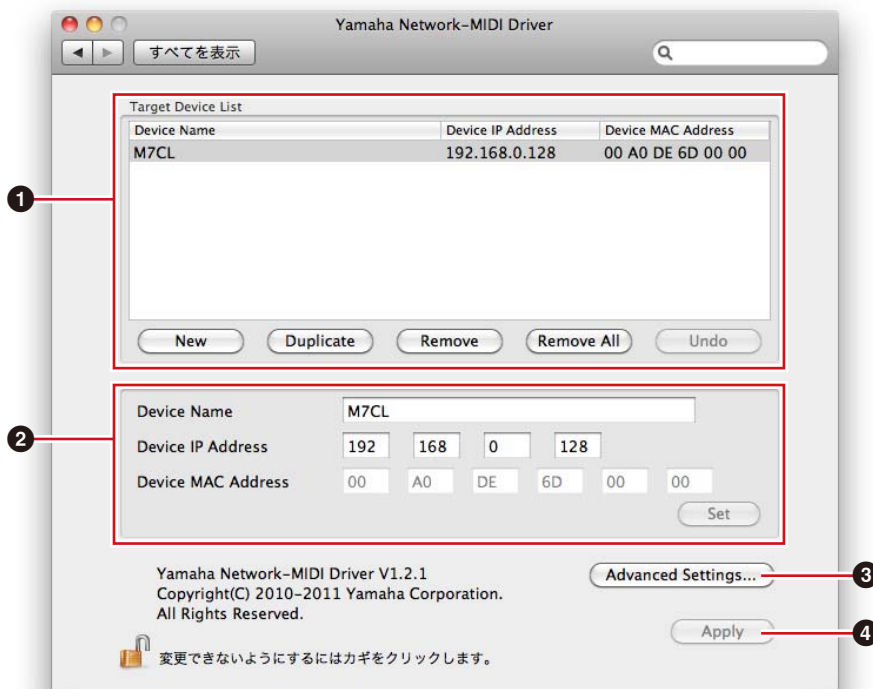
## 3 [Yamaha Network-MIDI Driver]アイコンをクリックします。

「Yamaha Network-MIDI Driver」画面が表示されます。

## 4 「Yamaha Network-MIDI driver」画面左下にあるカギのアイコンをクリックして、管理者名とパスワードを入力します。

## 5 「Yamaha Network-MIDI Driver」画面でドライバーの設定をします。

Target Device List(①)に接続する機器が表示されていない場合は、[New]ボタンをクリックしてデバイス情報(②)でIPアドレスなどの情報を入力します。[Set]ボタンをクリックして機器を登録してから、[Apply]ボタンをクリックして設定を保存します。接続する機器が1台のみでネットワーク設定が初期設定の場合は、デバイス情報(②)のDevice IP Addressを「192.168.0.128」(M7CL/LS9)または「192.168.0.129」(DSP5D)に設定すると通信できます。機器を複数接続する場合は、[Advanced Settings...]ボタンをクリックして機器を自動検出(7ページ)すると便利です。



### ① Target Device List

登録されているNetwork-MIDI Driverと通信する機器の名前、IPアドレス、MACアドレスのリストを表示します。タイトルバーをクリックするとソートされます。

このリストで選択した機器の情報は、デバイス情報(②)で表示/変更できます。

#### Device Name

機器の名前です。デバイス情報(②)のDevice Nameをご覧ください。

#### Device IP Address

機器のIPアドレスです。デバイス情報(②)のDevice IP Addressをご覧ください。

## Device MAC Address

機器のMACアドレスです。デバイス情報(2)のDevice MAC Addressをご覧ください。

### [New]ボタン

新しく機器を追加します。デバイス情報(2)で情報を編集して[Set]ボタンをクリックすると追加されます。

### [Duplicate]ボタン

新しく機器を追加します。選択していた機器の情報がコピーされますので、デバイス情報(2)で情報を編集して[Set]ボタンをクリックすると追加されます。

### [Remove]ボタン

選択した機器を削除します。リストの一番下以外の行を削除すると、削除した行より下の行は上にシフトします。

### [Remove All]ボタン

すべての機器を削除します。

### [Undo]ボタン

直前の状態に設定を戻します。一度だけ有効で、「Yamaha Network-MIDI Driver」画面の起動やUndoを行なった直後は、グレースアウト表示されて使用できません。

## 2 デバイス情報

Target Device Listで選択したNetwork-MIDI Driverと通信する機器の情報を表示/設定します。

### Device Name

機器の名前を表示/設定します。

初期値はUNIT1～UNIT511で、半角の英数字や記号で任意に設定できます。

### Device IP Address

機器のIPアドレスを設定します。機器本体で設定したIPアドレスをここに入力します。

**NOTE** [Device IP Address]の設定が正しくない場合、通信できません。

### Device MAC Address

機器のMAC (Media Access Control)アドレスを設定します。各機器本体のMACアドレスは製造時に決定され、変更することはできません。

MACアドレスを設定するのは、IPアドレスが誤って設定された場合に、誤った機器にデータが送られないようにするためです。機器のMACアドレスの確認方法については、各機器の取扱説明書をご参照ください。

**NOTE** 実際につながっている機器のMACアドレスは変更できません。

### [Set]ボタン

Device Name、Device IP Address、Device MAC Addressの変更を反映します。Target Device List (1)で[New]ボタンや[Duplicate]ボタンをクリックしたあとは、このボタンをクリックするまで機器は追加されません。

## 3 [Advanced Settings...]ボタン

「Advanced Settings」画面が開きます。

機器の自動検出やファイルの読み込み/保存を行ないます。詳細は「[機器の自動検出とファイルの読み込み/保存](#)」をご覧ください。

## 4 [Apply]ボタン

画面の値を有効にして、通信を開始します。

**NOTE** 管理者名とパスワードの入力を要求される場合があります。それぞれを入力して[OK]ボタンを押してください。

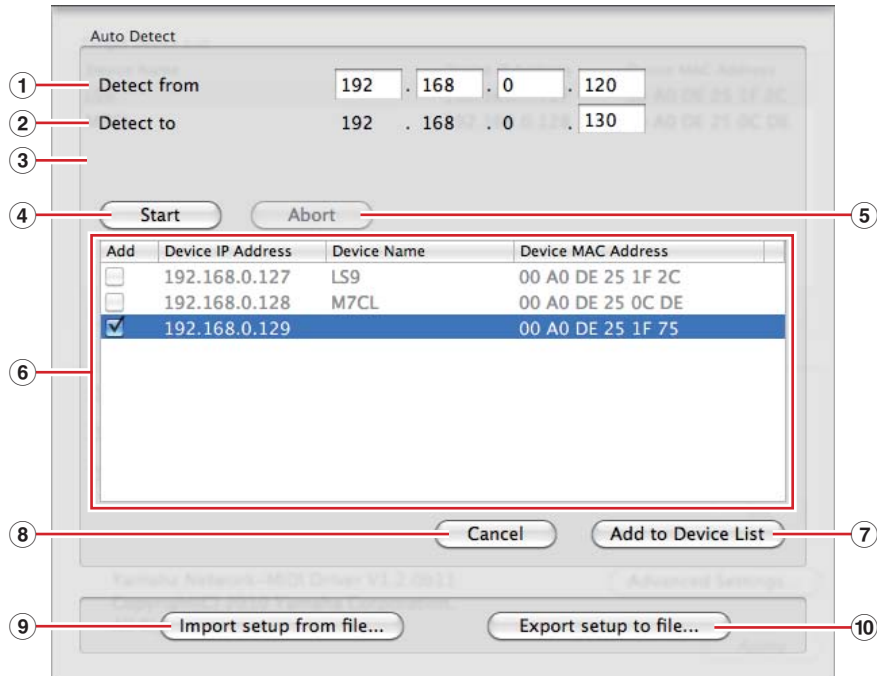


## 機器の自動検出とファイルの読み込み/保存

「Yamaha Network-MIDI Driver」画面で[Advanced Settings...]ボタンをクリックすると、「Advanced Settings」画面が開きます。

### 「Advanced Settings」画面

Network-MIDI Driverと通信できる機器の自動検出や、設定情報のセーブ/ロードができます。



### Auto Detect

接続されている機器を自動的に検出します。

最大で、\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.1~\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.254の254のアドレスから検索します。

**NOTE** 自動検出できる機器は、コンピューターと同じサブネットへ接続されている機器だけです。機器を検索する場合は、コンピューターをあらかじめ同じサブネットに接続してIPアドレスを適切に設定してください。

#### ① Detect from

検出を開始するIPアドレスを設定します。

#### ② Detect to

検出を終了するIPアドレスを設定します。

#### ③ currently searching

検出中のIPアドレスを表示します。検出中以外は表示されません。

#### ④ [Start]ボタン

自動検出を行ない、検出デバイスリスト(⑥)を更新します。

検出中は、グレースアウト表示されて使用できません。

#### ⑤ [Abort]ボタン

自動検出を中止します。

検出中以外は、グレースアウト表示されて使用できません。

## ⑥ 検出デバイスリスト

検出したすべての機器のリストを表示します。

初期状態では、何も表示されません。

### Add

チェックすると、[Add to Device List]ボタンでTarget Device Listに追加されます。  
すでに登録されている機器はチェックできません。

### Device IP Address

検出した機器のIPアドレスです。

### Device Name

検出した機器の名前が登録されている場合は、名前を表示します。  
登録されていない場合は何も表示されません。

### Device MAC Address

検出した機器のMACアドレスです。

## ⑦ [Add to Device List]ボタン

[Add]欄でチェックがついている機器を、Target Device Listに追加します。

## ⑧ [Cancel]ボタン

設定を更新せずに「Advanced Settings」画面を閉じます。

## ⑨ [Import setup from file]ボタン

異なる環境で作業を行なう場合、あらかじめ保存しておいた設定を読み込むことができます。

クリックすると「Import setup from file」画面が開きます。

ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックすると、設定を読み込みます。

## ⑩ [Export setup to file]ボタン

異なる環境で作業を行なう場合、設定を保存しておくことができます。

クリックすると「Export setup to file」画面が開きます。

ファイル名を入力して[保存]ボタンをクリックすると、設定をファイルに保存します。



## TCP/IPの設定

### 1 Dockの[システム環境設定]アイコンをクリックします。

「システム環境設定」画面が表示されます。

### 2 [ネットワーク]アイコンをクリックします。

「ネットワーク」画面が表示されます。

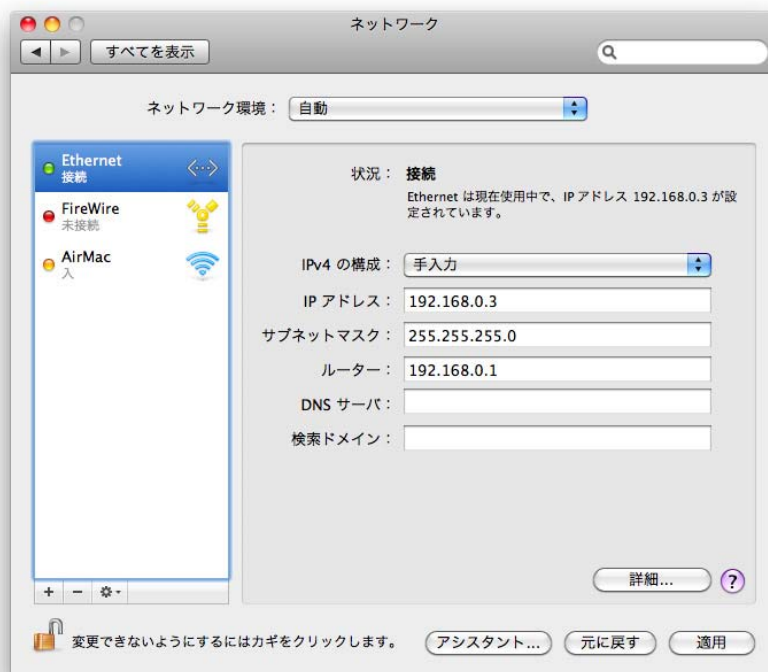
### 3 [Ethernet]をクリックします。

Ethernetの設定画面が表示されます。

**NOTE** Ethernetの選択肢が複数ある場合は、機器と接続されているEthernetを選択してください。

### 4 [IPv4の構成]または[構成]で[手入力]を選択して、[IPアドレス]にコンピューターのIPアドレス、[サブネットマスク]に「255.255.255.0」、[ルーター]にルーター (ゲートウェイ)のIPアドレスを入力します。

**NOTE** 機器とコンピューターを1対1で接続する場合、IPアドレスを「192.168.0.3」にすることをおすすめします。スイッチングハブを使って複数の機器と接続する場合の設定方法については各エディターのインストールガイドをご参照ください。



### 5 [適用]をクリックします。

ネットワークの設定が反映されます。

これでTCP/IPの設定が完了しました。

## 故障かな?と思ったら(Q&A)

Ethernet経由でコンピューターから機器を操作した場合、正常に動作しない

● Network-MIDI Driverはインストールしていますか?

● Ethernetケーブルは正しく接続されていますか?

「[コンピューターと機器の接続](#)」をご参照ください。

● Network-MIDI Driverの設定は正しいですか?

「[セットアップ方法](#)」をご参照ください。

● 機器本体のIPアドレスは正しいですか?

機器のIPアドレス設定については各機器の取扱説明書をご参照ください。コンピューターと機器を1対1で接続する場合は、次の初期設定値に合わせることをおすすめします。

IPアドレス	192.168.0.128(M7CL/LS9)、 192.168.0.129(DSP5D)
ゲートウェイアドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0

スイッチングハブを使って複数の機器と接続する場合は、各エディターのインストールガイドをご参照ください。

● コンピューターのネットワーク設定は正しいですか?

「[TCP/IPの設定](#)」の手順にしたがって、ネットワーク設定をご確認ください。

コンピューターと機器を1対1で接続する場合は、次の設定値に合わせることをおすすめします。

IPアドレス	192.168.0.3
サブネットマスク	255.255.255.0
ルーター	192.168.0.1

スイッチングハブを使って複数の機器と接続する場合は、各エディターのインストールガイドをご参照ください。

● 機器およびスイッチングハブなどの周辺ネットワーク機器の設定は正しいですか?

詳細は機器およびスイッチングハブなどの周辺ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。

● エディターおよびStudio Managerのポート設定は正しいですか?

エディターおよびStudio Managerの入出力ポートとも、接続する機器のポートを選択してください。

● Network-MIDI Driverは最新のものをインストールしていますか?

ヤマハホームページから最新のドライバーをインストールできます。

<http://proaudio.yamaha.co.jp>

## ● セキュリティソフトの設定は正しいですか？

### Mac OS X 10.8/10.7の場合

Dockの[システム環境設定] → [セキュリティとプライバシー] → [ファイアウォール]をクリックします。ファイアウォールが停止していることを確認してください。

ファイアウォールを開始する場合は、下記のMIDI Serverの接続をブロックしないように、詳細設定を行なってください。  
/システム/ライブラリ/Frameworks/CoreMIDI.framework/Versions/Current/MIDI Server

### Mac OS X 10.6の場合

Dockの[システム環境設定] → [セキュリティ] → [ファイアウォール]をクリックします。ファイアウォールが停止していることを確認してください。

ファイアウォールを開始する場合は、下記のMIDI Serverの受信接続を許可するように、詳細設定を行なってください。  
/システム/ライブラリ/Frameworks/CoreMIDI.framework/Versions/Current/MIDI Server

### Mac OS X 10.5の場合

Dockの[システム環境設定] → [セキュリティ] → [ファイアウォール]をクリックします。[すべての受信接続を許可]または[特定のサービスおよびアプリケーションにアクセスを設定]にチェックが入っていることを確認してください。

[特定のサービスおよびアプリケーションにアクセスを設定]にチェックが入っている場合は、下記のMIDI Serverの受信接続を許可するように設定してください。

/システム/ライブラリ/Frameworks/CoreMIDI.framework/Versions/Current/MIDI Server